

公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団
第3期（2024年度）事業報告書
（2024年8月1日～2025年7月31日）

【概要と主な成果】

第3期（2024年度）は、以下の4点を重点目標とし、取り組みを進めた。

- ・財団の基盤強化：

定款や諸規程に基づいて財団運営に取り組んだ。また、第三者の専門家より、当財団の運営上の課題点や今後優先的に取り組むべきことについてアドバイスをもらい、取り組みを進めている。

- ・助成プログラムの推進：

テーマ指定基金「子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【学校対象】」で合計6件の学校教育現場に助成した。プロジェクト指定基金は6件採択し、各団体が事業計画に基づいて寄付募集を実施し、プロジェクトを進めている。これらの助成プロジェクトはいずれも、各プロジェクトが完了次第報告書を受領し、その内容を広く寄付者や市民に共有している。また、冠基金による助成プログラムを2件設置し、いずれも予定数を上回る申請があり、併せて14件を採択した。来期以降、各プロジェクトの実行を支援していく。

- ・寄付の呼びかけの拡大：

プロジェクト指定基金では、採択団体とともに寄付募集の計画づくりに取り組んだ。また、企業と個人から各1件ずつ、計2件の冠基金の新規設置があった。3～4月には、来期公募予定の助成プログラム「子ども若者の体験や学びの機会を支える助成」の原資となる寄付を募集し、138万円のご寄付を預かった。前期に引き続き、財団運営費となる「てらすファンクラブ」への寄付も呼びかけ、毎月76,000円の継続寄付を受けている。

- ・情報共有の場づくり：

寄付者や市民との対話の場づくりとして「TellusDAY（てらすでい）」を計7回開催し、延べ77名の参加があった。開催日時や場所を様々に設定し、幅広い市民に参加してもらえるよう工夫した。対話のテーマを参加者同士で決める回や、主催側が提供する回など、実施方法にも工夫しながら取り組んだ。

【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

（1）テーマ指定基金

（ア）子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【学校対象】

- ・当財団は、香川県で育った若者たちが「地元が好き」「いつか戻ってきたい」という気持ちを胸に進路選択に臨める未来をめざしている。教育の最前線で子どもたちと関わる小中学校、高校、支援学校の先生方による、地域との関わりの中で、子どもたちの地元への愛着形成や自己成長につながる体験の提供、および、地域への効果や影響を生み出す環境創出に対して、助成を実施した。

- ・2024年度公募内容

対象事業：助成プログラムの意図を反映した事業

申請受付期間：＜1次＞2024年5月16日～6月30日、＜2次＞2024年8月1日～11月29日

事業実施期間：採択通知～2025 年 2 月 28 日

申請件数：7 件 <1 次> 6 件、<2 次> 1 件

採択件数：6 件 <1 次> 5 件、<2 次> 1 件

助成総額：540,180 円

・2024 年度助成先：

学校名	活動内容	助成金額
尽誠学園高等学校 <1 次>	地元金融機関の協力による「社会に出る前の金融教育」で、高校 3 年生の香川愛を高める	90,180 円
フレンドシップ 実行委員会 <1 次>	不登校の小中学生の支援センターでの造形・料理・体育活動などに地域の方を招き、社会とのつながりを感じる	100,000 円
高松市立新番丁小学校 <1 次>	児童を主体した、地域のコミュニティ協議会や PTA の協力により「人と人がつながるビオトープ」づくり	100,000 円
香川県立高松東高等学校 <1 次>	保育探究グループが高松短期大学と連携し、0～5 才児の遊び場の企画・運営を通じて、保育についての理解を深める	100,000 円
香川県立高松高等学校 <1 次>	平和をテーマに、杉原千畝の母校の生徒と現地交流し、その活動を地元の小中学生に共有・交流する	100,000 円
香川大学教育学部附属 高松小学校 <2 次>	サーキュラーエコノミーを実現する企業と出会い、持続可能な社会の構築について自分の生き方を考える	50,000 円

・伴走支援

- 可能な限り現場を訪問し、対象となる児童や生徒にヒアリングを実施し、活動への価値づけを行った。
- 学校現場の活動を知ってもらうため、メディアにも積極的にプレスリリースの投げ込みを行った。

(2) プロジェクト指定基金

・申請受付期間：2024 年 6 月 10 日～12 月 27 日（毎月末締切）

・相談件数：9 件

・申請件数：7 件

・採択件数：6 件

・2024 年度寄付総額：5,402,225 円 / 助成総額：4,862,125 円

・2024 年度助成先（寄付募集团体）：

事業名／団体名（所在地）	寄付募集 期間	目標額	寄付額	寄付 件数	事業 進捗
【ゲーム×お祭り】100 年後も進化し続ける、新しい時代の“お祭り”を、100 人の力を借りて創り上げたい！【高松】 ／一般社団法人讃岐 GameN（高松市）	2024 年 9 月 24 日～ 11 月 15 日	250,000 円	415,000 円 (166%)	40 件	進行中

香川の高校生が制作！多様性を伝える絵本を 地元香川の子どもたちに届けたい！ ／あしたプロジェクト（高松市）	2024 年 9 月 24 日～ 11 月 11 日	1,100,000 円	1,388,725 円 (126%)	164 件	進行中
地域がつなぐ、長期闘病中の子どもたちの笑 顔と希望プロジェクト：あなたも仲間に ／特定非営利活動法人未来 ISSEY（丸亀市）	2024 年 11 月 30 日～ 2025 年 1 月 14 日	1,870,000 円	1,870,000 円 (100%)	185 件	進行中
「あゆもうともに」こども虐待防止学会ア ートプロジェクト つながる応援 -万子旗- 日本子ども虐待防止学会第 30 回学術集会 ／かがわ大会実行委員会（善通寺市）	2024 年 10 月 28 日～ 11 月 22 日	1,000,000 円	952,000 円 (95%)	58 件	終了
保護者のための保育教育施設等での性被害相 談窓口「話してみて。」運営 ／こども安全ネットかがわ（丸亀市）	2025 年 1 月 22 日～ 2 月 24 日	410,000 円	441,500 円 (108%)	62 件	進行中
夢をカタチに!! ○○×ふくし×まちづくりア ワード 2025 ／福祉 works MANMARE（丸亀市）	2025 年 5 月 1 日～ 6 月 30 日	700,000 円	335,000 円 (47%)	37 件	進行中

・伴走支援

- 申請書提出前から随時相談に応じ、申請団体の目的や事業計画の整理を支援した。
- 当財団の SNS 等を通じて寄付を呼びかけることで、これまで各団体と直接繋がりなかった個人・団体・企業からの寄付に繋がった。また、広く市民に各プロジェクトを知る機会を提供した。
- 効果的な寄付サイトの構成や寄付募集スケジュール構築などについて相談に乗り、助言した。
- 団体からの要望に応じて、インスタライブ等の広報に参画したり、企業訪問に同行したりした。

(3) 冠基金

- ・相談件数 : 3 件
- ・新規基金設立 : 2 件

(ア) ONDO 次世代リーダー応援ファンド（新規）

- ・未来のリーダー（＝何らかの影響力を発揮できる人）を育成するために、若者のチャレンジを促し、「動いてみる」「やってみる」という経験への支援を目的とする。
- ・2024 年度公募内容
対象事業 : 香川県内の生徒・学生チームによる、「地域課題に対して主体的に行動を起こし、周囲を巻き込みながら解決に導く人材」の育成につながるプロジェクト
申請受付期間 : 2025 年 5 月 1 日～6 月 30 日
事業実施期間 : 採択通知～2026 年 3 月 31 日

申請件数 : 非公開
採択件数 : 6 件
助成総額 : 539,520 円 (申請時点の予定額、助成金支給は来期)

・2024 年度助成先:

団体名	プロジェクト概要	申請金額
OG ゼミチーム	きこえない子どもたちにコーヒESHOP店員の体験を提供し、子どもたちの社会に対するアプローチを共に考える	100,000 円
ハビネス収穫部	障害のある若者たちと一緒に、カラーボールや色画用紙、新聞紙などを使った身体表現とアート作品のワークショップを楽しむ	39,520 円
かみんぐ	高校生が高松盆栽の商品アイデアを考え、若者も興味を持つ文化となるよう、高松盆栽を盛り上げる	100,000 円
せとうちで、はじめまして。	香川県内の小学生親子を対象に防災キャンプを開催し、実践的なスキルと、主体的に防災に取り組む意識を育む	100,000 円
チームまるはた	小学生を対象に、農作物の生産から消費までの一貫した過程を体験できる農業体験カリキュラムを作成し、食への感謝の念を育む	100,000 円
架け橋 ~Connecting for Peace~	アンネのバラの接ぎ木体験を通して、小学生や中学生と平和について考え、みんなで生きやすい、暮らしやすい世界を目指す	100,000 円

・伴走支援を、順次実施する予定である。

(イ) みやこ基金 (新規)

・子どもたちが健やかで心やさしい人間に成長できるように、という設置者の思いから、子どもを対象に、他者を思いやるきっかけとなるような文化・芸術体験の提供を支援することを目的とする。

・2024 年度公募内容

対象事業 : 高松市で実施される、文化・芸術体験を子どもたちに提供するプロジェクト
申請受付期間: 2025 年 5 月 5 日~6 月 20 日
事業実施期間: 採択通知~2026 年 2 月 28 日
申請件数 : 非公開
採択件数 : 8 件
助成総額 : 750,000 円 (申請時点の予定額、助成金支給は来期)

・2024 年度助成先:

団体名	プロジェクト概要	申請金額
西宝町みんなの居場所	栗林公園で書初め大会を子どもたちと主宰し、日本文化を通じて多様性を認め合い、前向きに生きる力を育てる	100,000 円
社会福祉法人こぶし福祉会 こぶし中央保育園	毎年園内で実施している人形劇鑑賞を、地域の親子、学童の子どもたち・保護者に対象を広げて実施する	100,000 円
フレンドシップ実行委員会	不登校の子どもたちが、自分を表現したり、誰かとゆるやかにつながったりできる場「つながるアトリエ」を開催する	100,000 円

特定非営利活動法人 光かがやく絵顔の種	通信制高校の生徒や小中学生が、コーヒー画家との表現活動を通じて、気持ちを自由に描き自分らしさに気づく体験を提供する	100,000 円
高松市立鬼無小学校	世界レベルのけん玉の技に触れることで、けん玉遊びの機運を高め、自制心、自己肯定感、やり抜く力等の非認知スキル向上を図る	50,000 円
株式会社オフィス岡 児童発達支援・放課後等 デイサービスいろは	医療的ケア児や発達障害児など誰もが安心して参加できる映画鑑賞会「インクルーシブシネマ」を開催し、文化体験の選択肢を広げる	100,000 円
グリーフサポート てらすば	きょうだいを亡くした子どもたちが自分の気持ちを表現する「撫で描きアートワーク」を行い、グリーフへの理解と生きる希望を育む	100,000 円
香川県中学校美術教育 研究会	複数の中学校の美術部員がものづくりワークショップを行い、自身の力で地域社会との関わりを創出することをめざす	100,000 円

・伴走支援を、順次実施する予定である。

2. 地域円卓会議および研修・イベント等開催事業

(1) 情報共有の場づくり

(ア) 2023 年度助成事業報告会の開催

当財団初の助成プログラムの事業報告会を開催し、本助成プログラムの成果と採択団体による各プロジェクトの実績を発表した。採択団体同士が互いのプロジェクトの体験談や失敗談を共有し合い、学び合える場とした。

事業名：2023 年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【団体対象】

日時：2024 年 9 月 13 日（金）15 時 00 分～18 時 00 分

場所：丸亀町レッツホール（高松市丸亀町）

内容：採択団体による事業報告、質疑応答、相互コメント

参加者：32 名（採択 11 団体 15 名、一般オブザーバー 10 名、来賓 1 名、スタッフ 6 名）

(イ) TellusDAY（てらすでい）の開催

当財団が寄付者と顔の見える濃い関係になること、および、寄付者が当財団の提供する場に気軽に来られるようになることを目的として、概ね毎月 1 回、全 7 回にわたって実施した。内容は、参加者が持ち寄った話題についてグループでランダムに話し合う「ガチャトーク」を中心とし、多くの寄付者に参加いただけるように、様々な時間と場所で開催した。

日時	場所	内容	参加者
2024 年 10 月 7 日（月） 18 時 30 分～20 時 00 分	コーヒーショップ ラウンジルーム（高松市林町）	・ガチャトーク	18 名
2024 年 11 月 9 日（土） 13 時 30 分～15 時 00 分	アジサーキュラーパーク （高松市庵治町）	・話題提供：中貴史さん「資源循環」 ・ガチャトーク	14 名
2024 年 12 月 9 日（月） 18 時 30 分～20 時 00 分	コーヒーショップ ラウンジルーム（高松市林町）	・ガチャトーク	9 名

2025年1月24日(金) 13時30分～15時00分	コーヒーショップ ラウンジルーム(高松市林町)	・ガチャトーク	6名
2025年2月10日(月) 18時30分～20時00分	丸亀市市民活動交流センター マルタス(丸亀市大手町)	・ガチャトーク	11名
2025年3月4日(火) 13時30分～15時00分	高松市仏生山交流センター ふ らっと仏生山(高松市仏生山町)	・ガチャトーク	9名
2025年4月17日(木) 18時30分～20時00分	コーヒーショップ ラウンジルーム(高松市林町)	・話題提供:越智萌さん「アドボカシー」 ・ガチャトーク	10名

(2) 啓発事業・講師派遣等

- ・9月9日 香川大学大学院地域マネジメント研究科「四国経済事情(地域活性化と地域資源)」講師登壇
- ・10月14日 (一社)日本金融教育支援機構主催「第2回 FES コンテスト」審査員
- ・10月15日 四国学院大学「博物館経営論」講師登壇
- ・11月3日 (公財)香川県スポーツ協会主催「四国ブロッククラブネットワークアクション」研修登壇
- ・11月5日 中国5県中間支援組織連絡協議会主催「秋の中間支援学校」研修登壇
- ・1月23日 (公財)徳島県スポーツ協会主催「第4回資質向上スキルアップセミナー」研修登壇
- ・2月8日 高松市市民活動センター主催「助成金獲得のための支援講座」研修登壇
- ・2月19日 T.I.O.主催「定例勉強会」研修登壇
- ・3月11日 (一社)全国コミュニティ財団協会主催「年次大会」パネリスト登壇
- ・3月16日 福祉 works MANMARE 主催「まんまーれ会議」パネリスト登壇
- ・4月19日 十獅会主催「十獅会未来会議」パネリスト登壇
- ・4月25日 香川大学大学院地域マネジメント研究科「ライフアントレプレナー」講師登壇
- ・5月7日 セとうち観光専門職短期大学「ファシリテーション」講師登壇
- ・6月16日 (公財)ほくりくみらい基金「助成審査会」審査員
- ・6月29日 テラロック主催「人と絆の金融」パネリスト登壇
- ・7月5日 大手前高松高等学校「アントレプレナーシップ」講師登壇
- ・7月18日 香川大学経済学部「地域活性化論」講師登壇

3. 調査研究事業

(1) 香川県災害支援調査プロジェクト

香川県域の災害支援に関する取り組みを開始するにあたり、香川県内の災害支援の実態、および、他地域の事例について調査を実施した。調査結果はレポート形式にまとめて、Web サイト上に公開した。

- ・2月17日 たかまつ子ども食堂ネットワーク主催「宇和島防災バス研修」に参加
- ・4～5月随時 災害支援活動・防災活動を行う個人6名、団体2件にヒアリング
- ・5月26日 香川県政策部男女参画・県民活動課と防災ボランティアに関する意見交換
- ・6月8日 (公財)ほくりくみらい基金に訪問
- ・6月8日 (一社)石川県災害ボランティア協会に訪問

- ・7月15～16日 祇園祭ごみゼロ大作戦 2025 ボランティアに参加およびボランティア本部に訪問

4. 相談・コーディネート事業

- ・資金調達に関する相談 18件（うち、6件はプロジェクト指定基金に申請）
- ・活動に関する相談 23件（過去助成先5件含む。14件は市民活動センターや関係相談窓口に引き継ぎ）
- ・寄付に関する相談 6件（うち、冠基金2件設置、パートナー寄付1件）
- ・連携、コーディネート 6件（他財団、助成機関を含む）

5. 財団運営活動

(1) 情報発信・啓発活動

- ・8月6日に公益化に関する記者会見を実施し、地元紙・メディアに向けてPRした。
- ・9月13日に設立1周年ファンミーティングを開催し、2023年度に当財団に寄付いただいた方をはじめとする43名に参加いただいた。寄付者同士および寄付者と採択団体の交流を目的とし、採択11団体・3校によるポスターセッションや、参加者へ直接当財団の事業報告を行った。
- ・2024年9月と2024年5月に助成プロジェクト実施報告書を作成した。寄付者や関係者に配布し、ホームページでも公開した。
- ・助成先団体6件にインタビューを実施し、メディアプラットフォームnoteにて公開した。
- ・随時、当財団のウェブサイトおよびSNSにおいて、公募情報などを発信した。
- ・随時、当財団の情報をプレスリリースした。
- ・毎月1回メールマガジンを配信し、寄付者および関心のある方に向けて、公募情報や助成先団体の活動報告などを発信した。
- ・随時、外部からのヒアリングに対応した。
- ・メディア掲載実績：

日付	メディア名	タイトル
8月3日	四国新聞	讃岐てらす財団が公益財団法人移行 寄付募集を強化
9月5日	かがわ経済レポート	たかまつ讃岐てらす財団公益財団法人化へ 現場の緊迫感とわくわくを伝えたい
10月3日	高松経済新聞	【高松を元気にする100人 VOL.9】大美光代さん【地域の課題に取り組む人たちに光を】
11月5日	かがわ経済レポート	トップインタビュー「香川の子供も達が見える未来をより良いものに」
4月18日	西日本放送	15:50～16:30 放送「every.フライデー」コメンテーター（大美）
6月19日	高松経済新聞	たかまつ讃岐てらす財団、地元企業と学生の地域活動助成の冠基金創設
7月中	ケーブルメディア四国	7月1日～7月31日、毎日3回放送「キラリ人 大美光代さん」

* 助成先団体等のメディア取材は上記に含まず

ほか

(2) 資金調達活動

(ア) 活動内容

- ・理事を中心に、個人や法人に対しての新規の寄付依頼、設立発起人への寄付依頼、ウェブサイトを通じた呼びかけを行った。
- ・寄付月間 2024 の団体アンバサダーとして、寄付月間である 12 月に寄付の呼びかけを強化した。
- ・2025 年 3 月 14 日～4 月 30 日に、地域を巻き込んで子どもたちの学びの機会提供を支援するための「若者の選択肢を増やしたい！次世代の応援団を募集します！」基金を設置し、寄付募集を行った。なお、本寄付を原資とする「2025 年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成」プログラムの公募・選考・助成は、来期に実施する。

(イ) 当財団への寄付実績 (4,800,937 円)

- ・財団運営を支援してもらう仕組み「てらすファンクラブ」および「てらすパートナー」への寄付額は 1,420,937 円となった。
てらすファンクラブ【月額】：49 件（うち新規 13 件）、定額 76,000 円／月、総額 845,000 円
てらすパートナー【単発】：16 件（個人 11 件、法人・団体 5 件）、総額 575,937 円
- ・冠基金は、今年度 2 件の新規基金が設立され、総寄付額は 2,000,000 円となった。
ONDO 次世代リーダー応援ファンド：1,000,000 円
みやこ基金：1,000,000 円
- ・テーマ指定基金「若者の選択肢を増やしたい！次世代の応援団を募集します！」への寄付は 118 件、寄付額は目標額 1,300,000 円に対して 1,380,000 円（106%達成）となった。

(ウ) 助成金・補助金等

- ・香川県「香川県避難所生活環境向上のための NPO・ボランティア活動支援補助金」に申請し、7 月 25 日に 281,273 円の交付が決定された。（補助金支給は来期）

【法人運営（管理）事業】

1. 機関会議の運営

(1) 評議員会の開催

定時評議員会を 1 回開催した。

- ・第 1 回評議員会（2024 年 10 月 19 日 13 時 30 分～15 時 00 分 高松市市民活動センター会議室 2）
 - 第 1 号議案 理事の選任について（候補：原氏）
 - 第 2 号議案 理事の選任について（候補：谷川氏）
 - 第 3 号議案 第 1 期(2023 年度・一般財団)計算書類の承認について
 - 第 4 号議案 第 2 期(2023 年度・公益財団)計算書類の承認について
 - 第 5 号議案 定款変更の承認について
 - 第 6 号議案 「役員及び評議員の報酬等に関する規程」変更の承認について

(2) 理事会の開催

定時理事会を4回開催した。

- ・第1回理事会（2024年9月20日13時00分～14時00分 財団事務所）
 - 第1号議案 第1期(2023年度・一般財団)計算書類等の承認について
 - 第2号議案 第2期(2023年度・公益財団)計算書類等の承認について
 - 第3号議案 理事の就任について
 - 第4号議案 評議員会の招集について
 - 報告事項 分ち決算の状況、理事辞任等
- ・第2回理事会（2024年12月20日13時00分～15時00分 財団事務所）
 - 第1号議案 冠基金寄付取扱規程の新規策定について
 - 第2号議案 倫理規程の新規策定について
 - 第3号議案 コンプライアンス規程の新規策定について
 - 第4号議案 利益相反管理規程の新規策定について
 - 第5号議案 リスク管理規程の新規策定について
 - 第6号議案 助成・褒賞選考委員会規程の改定について
 - 報告事項 業務執行理事の職務執行状況、冠基金の設置進捗等
- ・第3回理事会（2025年3月19日13時00分～15時00分 財団事務所）
 - 報告事項 休眠預金等活用事業への申請状況、助成の成果、今後の寄付募集予定等
- ・第4回理事会（2025年6月20日13時00分～15時00分 財団事務所）
 - 第1号議案 理事会運営規則の新規策定について
 - 第2号議案 監事監査規程の新規策定について
 - 第3号議案 経理規程の新規策定について
 - 第4号議案 情報公開規程の新規策定について
 - 第5号議案 内部通報(ヘルプライン)規程について
 - 第6号議案 令和7年度事業計画および予算計画について
 - 第7号議案 利益相反取引の可否について
 - 報告事項 業務執行理事の職務執行状況、休眠預金等活用事業への申請状況、評議員辞任等

(3) 監査の実施

第1回～第4回理事会に加藤監事および三村監事が出席し、業務監査を実施した。

2. 役員に関する事項

(1) 評議員

真鍋康正評議員は、一身上の都合により、2025年5月22日付で辞任した。

鈴木裕美評議員は、一身上の都合により、2025年5月24日付で辞任した。

中橋恵美子評議員は、一身上の都合により、2025年5月26日付で辞任した。

(2) 理事

藤本泰雄理事は、一身上の都合により、2024 年 8 月 15 日付で辞任した。

2024 年 10 月 19 日の理事会において、以下 2 名の理事が選任された。

- ・就任（新任）：谷川由紀
- ・就任（新任）：原直行

(3) 監事

今期中の就任または退任はなかった。

3. 事務局体制

(1) 組織体制

- ・期首時点で、事務局職員 5 名（常勤 1 名、非常勤 4 名）が在籍
- ・期末時点で、事務局職員 4 名（常勤 1 名、非常勤 3 名）が在籍

(2) 各事業の人員配置

- ・事業チーム（助成事業・イベント開催事業・寄付者の新規開拓等）：2 名
- ・総務チーム（総務・会計・経理等）：2 名

(3) 職員研修とスキルアップ

- ・8 月 21～22 日（一社）全国コミュニティ財団協会事業評価研修に理事 2 名が参加
- ・9 月 1 日、理事 1 名が準認定ファンドレイザーに合格
- ・9 月 27 日（特非）岡山 NPO センター主催「NPO 事務力セミナー&検定」を理事 1 名、職員 1 名が受講し、検定合格
- ・9 月 10 日（公財）えひめ西条つながり基金の監査立ち合い研修に理事 1 名が参加
- ・10 月 17 日（特非）岡山 NPO センター主催「行政関係機関との意見交換会」に理事 1 名が出席
- ・11 月 5 日 中国 5 県中間支援組織連絡協議会主催「秋の中間支援学校」に理事 2 名が参加
- ・1 月 31 日～2 月 1 日（公財）沖縄みらいファンド主催「円卓会議研修」に理事 1 名が参加
- ・3 月 10～11 日（一社）全国コミュニティ財団協会年次大会に理事 2 名が出席
- ・4 月 26 日 中国 5 県中間支援組織連絡協議会主催「春の中間支援学校」に理事 2 名が参加
- ・5 月 17 日（公財）福武財団主催事業報告会及び研修会に理事 1 名が参加
- ・5 月 20 日（公財）京都地域創造基金主催「寄附金控除に関するオンライン研修」に理事 2 名が参加
- ・6 月 8 日（公財）ほくりくみらい基金に理事 1 名が訪問
- ・6 月 8 日（一社）石川県災害ボランティア協会に理事 1 名が訪問
- ・7 月 15～16 日 祇園祭ごみゼロ大作戦に理事 1 名がボランティア参加

4. 寄付者等の情報管理

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce 社のシステムを利用し、データベースの適切な管理と活用を行っている。利用にあたっては、Salesforce 社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいる。

※Salesforce：CRM クラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO 法人等への無償提供プログラムなど CSR にも積極的に取り組む（<http://www.salesforce.com/jp/>）

添付資料：

- ・ 選考会開催状況
- ・ 業務執行理事の職務執行状況報告
- ・ 間接的な寄付についての報告

以上のとおりであるが、第 3 期（2024 年度）事業報告は本文にて事業等が詳細に説明されるため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は不要につき、附属明細書は作成しない。

第3期（2024年度）

公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団選考委員会 選考会開催状況

■2024年度子ども若者の体験や学びの機会を支える助成【学校対象】＜2次募集＞

助成対象	香川県内に設置されている小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・支援学校
募集方法	公募
選考方法	申請書類、インターネットなどで公開されている情報をもとに、選考委員3名による選考を実施
選考会	日時： 2024年12月25日 10時00分～12時00分 場所： オンライン
選考基準	(1) 広く教育の現場で実施される事業であること (2) 児童・生徒の課題やニーズを捉えた内容であるか (3) 実施地域が明確であるか (4) 事業活動によるめざす効果が具体的にイメージできているか (5) 実施スケジュールが明確であり、現実的な内容であるか (6) 事業実施に必要な体制が整っているか（人員、機材、能力等） (7) 計画に応じ予算の使途が適切で、公開できる内容であるか
選考結果	1団体採択

■2024年度プロジェクト指定基金

助成対象	香川県内に事務所を置く団体、組織（NPO法人・社団法人・財団法人・社会福祉法人・任意団体・市民活動団体等）
募集方法	公募
選考方法	提出書類、インターネットなどで公開されている情報をもとに、選考委員3名による選考を実施
選考会	日時： ＜第1回＞ 2024年8月16日 10時00分～12時00分 ＜第2回＞ 2024年11月18日 14時00分～16時00分 ＜第3回＞ 2025年1月15日 10時00分～12時00分 場所： オンライン
選考基準	(1) 社会からのニーズがあり、公益性のあるプロジェクトであること (2) 寄付募集の積極的な意欲があること (3) 計画が明確で、内容や実現方法が妥当であること (4) 内容にあった経費の見積もりであること (5) 広く情報発信を実施できる体制と、その姿勢があること (6) 組織運営において、事務局が機能していること
選考結果	6団体採択

■ONDO 次世代リーダー応援ファンド

助成対象	香川県内において活動している、または活動しようとしている、生徒や学生（小学生、中学生、高校生、大学生相当の年代）で組織されている3名以上のチーム
募集方法	公募
選考方法	申請書類、インターネットなどで公開されている情報、申請者によるプレゼンテーションをもとに、選考委員3名による選考を実施
選考会	日時： 2024年7月13日 10時00分～15時00分（昼休憩あり） 場所： 当財団事務所（申請者によるプレゼンはオンライン）
選考基準	(1) 公益につながる可能性があるプロジェクトであるか (2) 地域社会の課題やニーズを捉えた事業内容であるか (3) プロジェクトの実施地域が明確であるか／実施地域が香川県内であるか (4) プロジェクトによる変化や効果がイメージできているか (5) 実施スケジュールが明確であるか／内容や実現方法が妥当であるか (6) プロジェクトに必要な人員、機材、能力等が整っているか／広く情報発信を実施できる体制と、その姿勢があるか (7) プロジェクト計画に応じて予算の計画が適切であるか
選考結果	6団体採択

■みやこ基金

助成対象	香川県内に事務所を置く団体、組織（法人格の有無や種類は不問。ただし対象となるプロジェクトは非営利目的であること）
募集方法	公募
選考方法	申請書類、インターネットなどで公開されている情報をもとに、選考委員3名による選考を実施
選考会	日時： 2024年7月13日 15時00分～16時00分 場所： 当財団事務所
選考基準	(1) 公益に関する種類の事業であるか／不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するか (2) 地域社会の課題やニーズを捉えた事業内容であるか／受益者の課題やニーズを捉えた事業内容であるか (3) 事業の実施地域が明確であるか／実施地域が高松市内であるか (4) 事業活動による目指す効果が具体的にイメージできているか／助成終了後も、事業の継続や発展が期待できるか (5) 実施スケジュールが明確であるか／内容や実現方法が妥当であるか (6) 事業に必要な人員、機材、能力等が整っているか／広く情報発信を実施できる体制と、その姿勢があるか (7) 事業計画に応じて予算の計画が適切であるか
選考結果	8団体採択

* いずれの選考も、選考結果は当財団ウェブサイト上での公開

以上

第3期（2024年度）公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団
業務執行理事の職務執行状況報告

■代表理事

- ・理事会・評議員会出席
- ・2023年度監査出席
- ・事務局打合せ出席、会計承認
- ・助成事業選考会出席
- ・助成事業報告会・ファンミーティング出席
- ・内部決裁、承認
- ・各種啓発活動（登壇等）
- ・各種相談対応、現場訪問、ヒアリング等

■業務執行理事

- ・理事会・評議員会準備、運営
- ・2023年度監査出席
- ・助成事業選考会準備、運営
- ・助成事業報告会・ファンミーティング準備、運営
- ・各助成事業進捗確認、伴走支援、報告書まとめ等
- ・補助金申請
- ・各種相談対応、現場訪問、ヒアリング等

以上

第3期（2024年度）公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団
間接的な寄付についての報告

■てらすおみくじ

オリジナルのおみくじを販売し、売り上げを募金寄付とする。

- ・11月17日 SANUKI X GAME に出店
- ・2月23日 ひとり親パートナーズ 冬のわくわくフリーマーケットに出店
- ・当財団事務所に常時設置

以上